

## 作業学習「手づくり班」の取り組み

知的障害部門中学部では、毎週火曜日と木曜日の午後、「園芸班」「さをり班」「手づくり班」の3グループに分かれて、作業学習に取り組んでいます。それぞれの班は10月のサテライト美咲や11月のみんなの作品展等での製品販売に向けて、花の苗や小物などの製品作成に取り組んでいます。

「手づくり班」では、おもにアイロンビーズを使った製品や牛乳パックを活用した紙漉き製品などの作成に取り組んでいます。

また、「手づくり班」では、交通安全ストラップも作成しています。交通安全ストラップの作成は今から10年くらい前（平成27年ごろ）に始まりました。それまでは、近隣の保育所や小学校にストラップを寄贈していましたが、たくさん作ったストラップを活用してもっと広く地域貢献ができないかという思いから、久米南町役場や美咲警察署の協力のもと、この取り組みが始まりました。

昨年までは久米南町の町木の「イチョウ」の葉をモチーフにしたストラップを作成し寄贈していましたが、今年の寄贈分からは久米南町のマスコットキャラクターの「カッピー」と町木の「イチョウ」の葉をモチーフにしたデザインに変更し、アイロンビーズで作成しました。鈴やストラップを取り付け、できた製品を検品した後、みんなで袋詰めをして、100個の「カッピーストラップ」が完成しました。

6月8日、完成した「カッピーストラップ」を持ってメンバー全員で誕生寺へ行き、交通安全の御祈禱をしていただいた後、「カッピーストラップ」を交通安全ストラップとして、久米南町役場の担当の方に、お渡ししました。その後、秋の交通安全県民運動期間中に、地域の方へ配布していただきました。来年度に向けて、今年もまた、3学期から、「カッピーストラップ」作りを進めていく予定です。



ストラップの作成



安全祈願の祈禱



町職員さんに配布の依頼



完成した交通安全ストラップ